

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成20年11月26日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 13 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)主油ポンプ(B1)用電動機において、回転子軸の反負荷側より異音(キーン音)が確認されたため、対応検討。	D	
2	2号機	高圧復水ポンプ吐出弁(A、C)駆動部点検において、同駆動部ステムナットねじ山に磨耗が認められたため、当該ステムナットを交換。	D	
3	2号機	復水ろ過器(B)配管ベント弁の浸透探傷検査において、弁体に指示模様が認められたため、対応検討。	D	
4	2号機	タービングランド蒸気系蒸化器胴体安全弁ベローズ点検において、ベローズ止めねじ部より漏えい(窒素ガス)が認められたため、当該部を補修。	D	
5	2号機	原子炉格納容器隔離弁間リークテストにおいて、原子炉格納容器調気系弁(3台)にシートリークが認められたため、当該弁を補修。	D	
6	2号機	サプレッションプール水位/サプレッションチェンバ圧力計発信器の点検において、同圧力記録計に指示値不良(指示が追従しない)が認められたため、当該記録計を点検。	D	
7	2号機	第1給水加熱器(C)水位計ブロー弁点検において、弁体部に傷が認められたため、対応検討。	D	
8	2号機	電解鉄イオン供給装置用鉄イオン供給ポンプ電動機点検において、振動管理値外れが認められたため、対応検討。	D	
9	2号機	補機冷却海水系配管点検において、原子炉及びタービン補機系熱交換器用貝殻除去装置ブロー配管の内面ライニングに劣化(ピンホール、塗装剥離)が認められたため、当該ライニングを補修。	D	
10	2号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)ターニングギヤ電動機点検において、シャフト軸に傷及び磨耗が認められたため、対応点検。	D	
11	2号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ(A、B)吐出弁点検において、ジョイントボルト・ナットに焼付きが認められたため、当該ボルト・ナット交換。	D	

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
12	2号機	主タービン蒸気加減弁 (No.3、4) のスイッチロッド部点検において、摩耗が認められたため、当該プッシュ部を点検。	D	
13	2号機	循環水ポンプ (B) 点検において、保護管及びポンプインペラのライニングに剥離が認められたため、当該剥離部を補修。	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉の停止</li> <li>・発電所外への放射性物質の漏えい</li> <li>・非常用炉心冷却系の作動</li> <li>・火災の発生 など</li> </ul>
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障</li> <li>* 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など</li> </ul> </li> <li>・原子炉への異物の混入 など</li> </ul>
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化</li> <li>・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障</li> <li>・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい</li> <li>・圧力抑制室等への異物の混入</li> <li>・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など</li> </ul>
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常小修理 など</li> </ul>

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

\*「不適合の定義」(JEAG4101-2000より)

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- As :法令、安全協定に基づく報告事象  
:プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A :国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象  
:定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B :国の検査等で指摘を受けた事象  
:運転監視の強化が必要な事象
- C :品質保証の要求事項に対する軽微な事象
- D :通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 :消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・企画広報グループ  
電話 0240-25-1353